

平成19年12月13日

宮城県県政記者会
所属報道機関 御中

東 北 大 学 広 報 課

**東北大学理学研究科化学棟改修工事に
おける化学薬品事故の発生について**

12月10日東北大学理学研究科化学棟改修工事作業中に解体作業員が「ジメチル硫酸」と思われる薬品に触れ、深夜目の異常を訴え、救急車で東北大学病院に搬送されました。

現在、作業員は、本大学病院で治療中であります。担当医からは、本日現在で同人は快方に向かっているとの情報を得ております。

当該事故報告については、昨日12月12日お昼頃に請負業者から大学に報告があり、現在事故発生原因等についての調査を行っております。

(ジメチル硫酸)

無色、無臭の液体。融点 - 31.4 、沸点 189 、72.6 (13mmHg) 比重 1.3322、屈折率 1.3874。水に 18 で 2.8%可溶。エーテル、ジオキサン、アセトン、芳香族炭化水素に可溶。強力なメチル化剤で、フェノール類、チオール、アミンなどのメチル化、活性メチレン基のメチル化などに用いられる。

この件に関する問合せ先
東北大学理学研究科
電話 022-795-6539